

# エコパートフロアブル

[ピラフルフェンエチル水和剤]

農林水産省登録 第20184号

有効成分 ピラフルフェンエチル…2.0%

性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：4年 包装：  
500ml×20 RACコード：除草[14]

## 特長

- 高活性除草剤ピラフルフェンエチルを有効成分とする茎葉処理型の広葉雑草防除剤です。
- 効果の発現が速く、低温条件でも速効的に枯らします。
- 広葉/イネ科植物間に明瞭な選択性があり、ヤエムグラに卓越した効果を示します。

## 効果、薬害等に関する注意事項

- 容器をよく振ってから使用する。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないように均一に散布する。
- 広葉雑草にのみ有効であるので、イネ科雑草に有効な土壌処理剤などの体系で使用する。
- 薬害のおそれがあるので重複散布を避ける。
- 散布直後に降雨が予想される時には使用をさける。
- 麦に使用する場合は、以下の注意を遵守する。
  - 雑草2～4葉期に有効であるが、雑草の生育が進むと効果が低下するので、使用時期を失ないように散布する。
  - 北海道の春処理では越冬した雑草に効果が劣るので、有効な剤と組み合わせて使用する。
  - 極端な低温時には効果が劣るおそれがあるので高めの薬量で使用する。
  - 展着剤は薬害を助長するおそれがあるので加用しない。
  - 有機リン剤及び効果、薬害に問題のないことが確認されていない薬剤との同時施用又は7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさける。
  - 散布後、作物に軽微な白色斑点などが発生することがあるが、その後の生育および収量には影響ない。
- 周辺の農作物や有用植物にかかると薬害を生じるので、かからないように注意して散布する。
- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 水産動植物に対する注意事項

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
小麦 (春播)	一年生広葉雑草	小麦2~4葉期 (広葉雑草2~4葉期) 但し、収穫45日前まで	50~100mℓ /10a	100ℓ /10a	2回以内	雑草茎葉散布 又は 全面散布	北海道	2回以内
小麦 (秋播)		小麦2~6葉期 (広葉雑草2~4葉期) 但し、収穫45日前まで						
小麦 (秋播)		小麦止葉抽出前まで (春期広葉雑草2~4葉期) 但し、収穫45日前まで	50~75mℓ /10a					
		小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期、 ヤムグラ2~6節期) 但し、収穫45日前まで	50~100mℓ /10a					
大麦		大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期) 但し、収穫45日前まで						
こんにゃく	植付後~萌芽前 (広葉雑草2~4葉期)					—		

製品写真



最新の登録内容はこちら

